

新聞部員オススメ

HIKAKUHIGASI  
GO ③

# 滋賀のお菓子

今回の冬キマグレは「地域のお菓子」を2面にわたって比較します。本面では新聞部員が滋賀のお菓子を紹介します。皆さんの地域のお菓子もあるでしょうか。各地域の絶品のお菓子をぜひ見てみてください。

長浜



しばらく  
a 暫

彦根



b 埋れ木

多賀



c 糸切餅

守山



d ふなずしパイ

## b 彦根の歴史を背負う菓子

創業1809年のいと十菓舗で販売されている「埋れ木」は、彦根藩主井伊直弼が青年時代をすごした「埋れ木舎」にちなんだ名前です。白餡の甘みと抹茶の香りのハーモニーがたまらない一品です。

## c 季節限定の「糸切餅」が多種多様

創業明治11年の苳寿堂本舗では多賀大社名物の「糸切餅」が販売されています。季節限定の糸切餅もあり、冬季限定で販売されている「糸切餅天ぷら」は餅の甘みと熱々の衣が絶妙にマッチした一品です。

## a あんこたっぷりの大判焼き「暫」

人気だった歌舞伎の演目に名前の由来がある北海道産小豆を100%使用した長浜の「暫」。ふわふわの薄皮生地の中にたっぷりの餡がぎっしり詰まっています。値段も安く、学生にもぴったりです。

## d 「鮎ずし」に新たな風

守山市の「モンレープ」で販売されている「ふなずしパイ」は15年前に発表され、多くのメディアに取り上げられています。鮎ずしが苦手な人でも手軽に楽しむことができる一品、ご賞味あれ！



速報新聞

キマグレ

発行所  
彦根東高等学校  
新聞部  
彦根市金亀町4番7号